



予算審査特別委員会の様子

- 【予算審査特別委員会】
- | | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 根本 守 | 委員 | 森田 洋一 |
| 副委員長 | 楠山 栄子 | 委員 | 中村 彰男 |
| 委員 | 近藤 美保 | 委員 | 小田桐 仙 |
| 委員 | 坂巻 儀一 | 委員 | 秋間 高義 |

平成28年度予算案を審議 前年度に比べ4・1%減少(総額は史上2番目の規模)

平成28年度一般会計予算については、8人で構成する予算審査特別委員会が2月26日に設置され、3月7日から9日まで、および11日の4日間にわたり審査が行われました。3月22日の本会議において、賛成多数をもって、原案のとおり可決されました。

本会議における一般会計予算に対する各党派等の意見は次のとおりです。

各党派等からの 意見表明

反対 日本共産党

反対する理由は、①予算の優先をTX沿線開発と関連事業、市のプロモーションとしている結果、生活困窮者・児童虐待などの対策は後回しにされ、保育料や国民健康保険料、後期高齢者医療保険料の値上げ、障害者手当、難病見舞金、敬老祝金の削減により、生活困窮世帯を拡大させ、深刻化させるなど、市民の暮らしへの攻撃をこれまで以上に強めるからです。②行政運営の課題(専門職員の不足、特別支援教育の推進、ごみ収集など公共サービスにおける不安定・低賃金の雇用拡大、運動公園地区区画整理事業の大幅遅延など)への

自浄能力が低下しているからです。③13年間で市の貯金は43%減り、借金は1.6倍化したうえ、はしご車増車や消防本部移転の経費、焼却炉更新費、学校校舎の老朽化対策の各予算が平成31年度末まで確保できないなど、市長が批判した前市政同様の『危機的な財政、深刻な財源不足』になっているのに、市長などの報酬・退職金を引き上げるからです。

反対する理由は、①予算の優先をTX沿線開発と関連事業、市のプロモーションとしている結果、生活困窮者・児童虐待などの対策は後回しにされ、保育料や国民健康保険料、後期高齢者医療保険料の値上げ、障害者手当、難病見舞金、敬老祝金の削減により、生活困窮世帯を拡大させ、深刻化させるなど、市民の暮らしへの攻撃をこれまで以上に強めるからです。②行政運営の課題(専門職員の不足、特別支援教育の推進、ごみ収集など公共サービスにおける不安定・低賃金の雇用拡大、運動公園地区区画整理事業の大幅遅延など)への



平成26年度決算審査での議会からの主な指摘要望事項と現在の取り組み状況

| 指摘要望事項 | 現在の取り組み状況 |
|--|---|
| 名都借跨線橋拡幅事業については、遅れが出ないよう予定どおり進められたい。 | 事業用地の取得に努め、平成27年度までの進捗は約28%の用地取得率です。今後は、残りの用地取得を迅速に行い、平成29年度工事着手、平成30年度完成を目指します。 |
| 中央消防署移転のための基金積み立てをし、計画的取り組みをされたい。 | 平成31年度までに基金設立当初の金額である5千万円を目標に積み立てを行い、新しい消防本部・中央消防署庁舎の建設費用に充てます。 |
| 防犯灯や防犯カメラの設置場所に関しては、地域要望をふまえ、充実した防犯設備に努められたい。 | 平成28年度から自治会が設置している防犯灯を市の直営とし、新規設置および維持管理を民間による省エネルギー化事業により行っていきますが、新規設置場所については、地元自治会からの要望により整備していきます。防犯カメラの設置場所については、犯罪発生状況を踏まえ、流山警察署と協議していきます。 |
| 学校施設の格差是正にむけ最大の努力を払われたい。 | 「流山市公共施設等総合管理計画」を踏まえ、学校施設の簡易劣化診断の結果および過去の学校施設の改修状況を含めた詳細診断を実施する優先順位の案を作成していることから、児童生徒が安全かつ快適に教育を受けられるよう、学校施設の個別施設計画を引き続き検討していきます。 |
| 保育園の慢性的な人材不足を解消すべく、国の動向を注視しつつ、市独自の更なる施策も検討されたい。 | 保育士の人材確保に寄与するため「保育士修学資金貸付事業」を平成31年度まで延長するとともに、平成28年度から新たに「保育士宿舎借り上げ支援事業」を実施することで、私立保育所の人材確保を支援していきます。 |
| 利根運河ツーリズム推進の観点から、運河駅橋上駅舎のポテンシャルを最大限に生かした工夫(副駅名化の導入・三角コーナーの活用)を図られたい。 | 平成27年度から運河駅の三角コーナースペースを活用し、今後も情報発信コーナーとして利用していきます。また、副駅名については、東武鉄道と相談するなど情報収集に努めていきます。 |
| 監査委員の定期・行政監査で指摘された資金管理方法等について適正管理を徹底されたい。 | 指摘を受けた部局において措置事項を精査し、監査委員に報告の上、告示を経て市のホームページにて公表しています。今後も、「公金等適正管理マニュアル」に基づき、適正な管理に努めていきます。 |

※予算の詳細は「広報ながれやま」平成28年4月1日号(2016年度事業特集号)をご覧ください。

賛成 流政会

市民総合体育館や小学校エリア整備など大型事業が終了し、7年ぶりのマイナス予算編成となりました。待機児童問題の解決に向けた手を緩めることのない保育・学童施設整備と共働き世帯の命綱である送迎保育ステーションの継続、つばさ学園の専門員配置や設備拡充、地域子育て支援事業の質向上に関する取り組み、先進的な英語教育教材データや教員同士のノウハウを全市で共有する校務支援システム導入など、子育てしやすい環境整備を実現する事業を高く評価します。また、名都借跨線橋道路拡幅改良事業や消防本部・中央消防署庁舎建設のための実着実な基金積み立ての実施、特に東深井地区の冠水被害対策は、地域要望を反映し半分の工期に見直されたこと、商店街空き店舗有効活用事業では地域商業活性化に寄与するものとして高く評価し、流鉄イベントや運河水辺公園トイレ整備事業などは交流人口のさらなる増加を図る取り組みとして期待し、賛成とします。

賛成 自由民主党

市制施行50周年を迎え、市制施行時と比較し、人口で約4倍強、予算で約75倍となる当市の今日の姿は、先人たちの弛まぬ努力の賜物と考えます。一般会計予算は約527億円で過去最大であった昨年比22億6千万円減であり、より身の丈にあったものと評価します。人口増加で市税は増収となるものの、小山小学校などの校舎増設など教育子育て関係の支出や、高齢化の進展による歳出も増えていきます。急務である学校施設の老朽化対策の計画策定や、人口が急増する流山おおたかの森駅周辺の現状を十分に把握した駅前市有地活用事業の推進を求めます。また、中央消防署移転の基金積み立ては評価しますが、白紙状態のクリーンセンター建て替えや特定疾病療養見舞金の引き下げは残念です。特定疾病療養見舞金については条例化を強く要望します。なお、完成したキックマンアリーナが市民の健康増進、文化の発展につながるよう、関係者各位の努力を期待します。